
ゴッドヘそ

源雪風

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
ゴッドヘソ

【Nコード】
N0135K

【作者名】
源雪風

【あらすじ】
不思議なヘソを持つ少女と鬼の物語。

（前書き）

不思議なおへそを持つ少女と鬼のお話。

みんな、ゴッドハンドって知ってるかい？

確かすごい力がある手だったよね。

ところが、ある村にゴッドヘそを持つ少女がおりました。

その少女のヘそは、触れた者をメロメロにしてしまう力があって、少女はその罪深きヘそをなくすため、雷の日に外でちょこんと座って、雨に打たれて、小鳥のようにふるふる振るえていた。

それを見た子鬼が心配して雲の上から降りてきた。

「ねえ。そこで座っていると風邪をひくよ。」

「あつ。あなたは鬼でしょう。私のおヘそを取ってよ。」

子鬼は、まだヘそを取るのが下手くそなので、彼女をお父さん鬼の所に連れてゆくことにした。

子鬼は少女の手をつかんで軽くジャンプすると、あつという間に雲の上に着いた。

「父ちゃん。この子のヘそを取ってよ。」

「いきなりどうした？あつ、かわいい女の子じゃないか。」

「私のおヘそを取ってください。」

「何でそんなことを言うんだい？ヘそは大切にせんといかんぞ。」

「私のおヘそは触った人をメロメロにしてしまうの。だから困るのもう嫌なの。」

「でも、俺がお嬢ちゃんのヘそを取ったら、俺がお嬢ちゃんにメロメロになってしまっじゃないか。それは困る。」

「えっ！鬼なのに、おヘそを取ってくれないの？」

「そうだ。お嬢さん。自分で自分のヘそを触ってみたらどうだろう。そうしたら、自分のことが好きになって、自分のヘそも許せるようになるんじゃないかな。」

「好きだからこそ、取ってしまいたいの。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0135k/>

ゴッドヘソ

2010年12月31日15時39分発行